

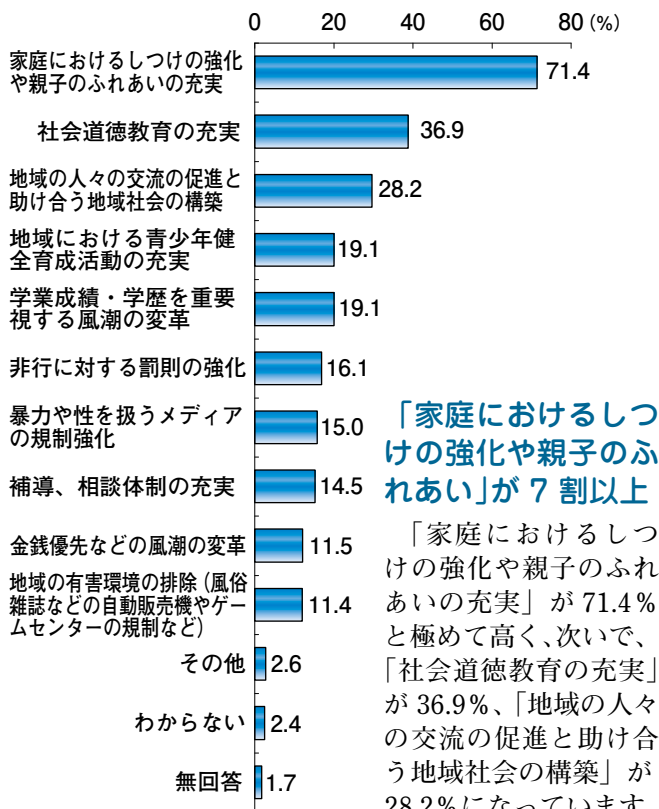
テーマ

「青少年の健全育成」

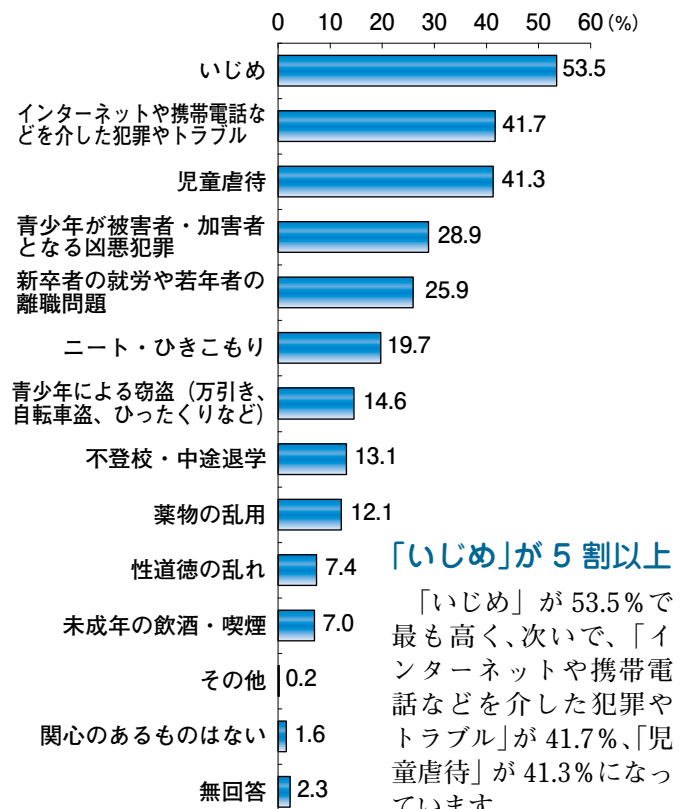


青少年健全育成事業「それいけ！ふじまる遊び塾」

Q 青少年の健全育成を進める上で重要なことは、どのようなことだと思いますか。(複数回答)



Q 青少年に関する問題として、あなたが関心のあるものは何ですか。(複数回答)

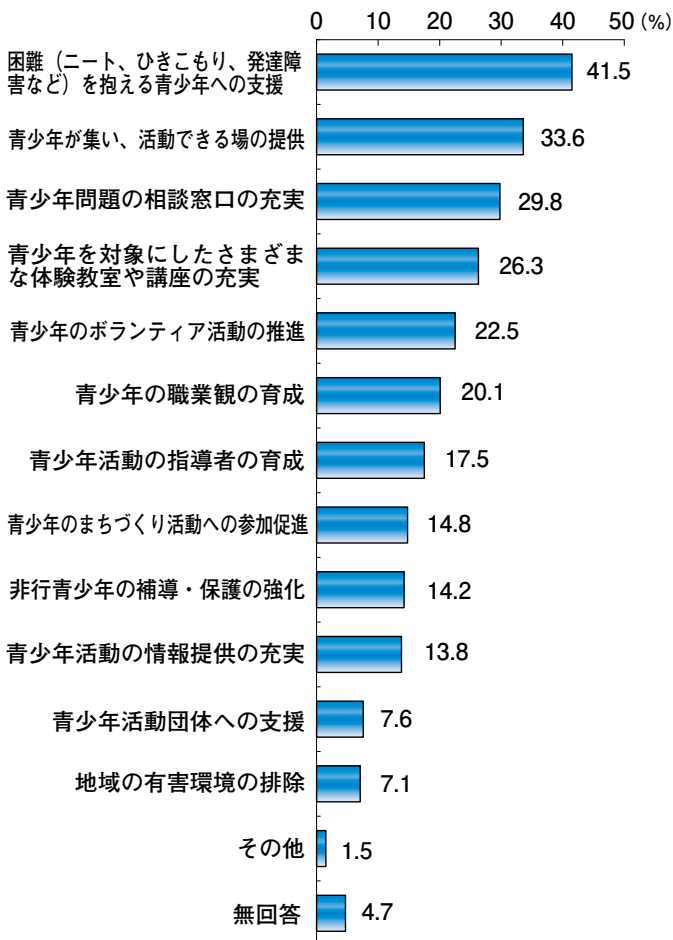


◆自由意見◆

青少年の健全育成について思うことなど (意見の一部を抜粋)

- ◇ 青少年の健全育成については、ゲーム・インターネット・携帯電話の普及によるコミュニケーションの変化がひきこもりなどにつながっていると思う (20代男性)
- ◇ 子どもにとって家族が一番影響がある存在なので、まず自分が健全であるべきと思う (30代女性)
- ◇ クラス全員に愛情を持って指導できたり、心配りしたりできる教員の教育、育成。保護者を対象にした子どもの指導方法に関する専門家によるセミナーを半年に1度開催する (40代男性)
- ◇ 保護者が子どもの様子をしっかりと見守ってあげることが大切。いじめ↓不登校↓ひきこもり↓ニートになっってしまう前に、子どもが何を考え、どんな状態にあるのか、保護者が子どもの変化に気づくように見守ってほしい (50代女性)
- ◇ 幼いころからいろいろな人の中で育てることが大事だと思う。スポーツや遊びを通して、家族だけでなく多くの人とかわる中で、我慢したり悔しがったり、泣いたり笑ったり、いろいろな感情を育てることが大事だと思う。こういうアンケートで多くの人の意見を聞くことは大事だと思う (60代男性)

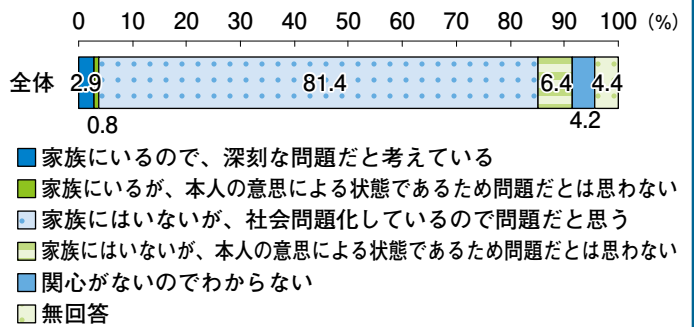
Q 青少年健全育成（困難を抱える子ども・若者支援を含む）のために、あなたが市に望む施策はどのようなものですか。（複数回答）



「困難（ニート、ひきこもり、発達障害など）を抱える青少年への支援」が4割以上

「困難（ニート、ひきこもり、発達障害など）を抱える青少年への支援」が41.5%と最も高く、「青少年が集い、活動できる場の提供」が33.6%、「青少年問題の相談窓口の充実」が29.8%になっています。

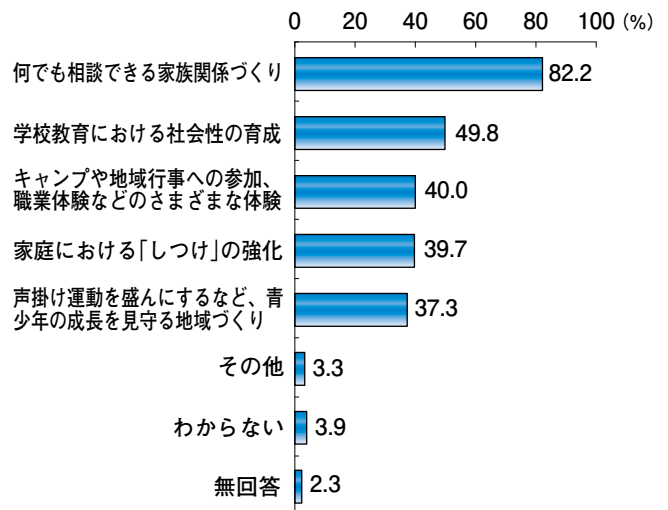
Q 青少年の「ひきこもり」問題について、あなたはどのように考えますか。



「家族にはいないが、社会問題化しているため問題だと思う」が8割以上

「家族にはいないが、社会問題化しているため問題だと思う」が81.4%を占めています。

Q 青少年が「不登校」や「ひきこもり」、「ニート」などの状態に陥らないためには、どのようなことが必要であると考えますか。（複数回答）



「何でも相談できる家族関係づくり」が8割以上

「何でも相談できる家族関係づくり」が82.2%と最も高く、次いで、「学校教育における社会性の育成」が49.8%になっています。

【世論調査に関する問い合わせ】

広報広聴課

☎(55)2730 ☎(5)1450
 ✉kouhou@div.city.fuji.shizuoka.jp

今回の調査にご協力くださいました皆さん、ありがとうございました。皆さんからいただいた貴重なご意見を今後の参考にして、市政を進めていきます。なお、詳しい調査結果は、市ウェブサイトにトップページ→市政の情報→広報・広聴・平和推進→世論調査でご覧になれます。

◇少子化で保護者が子どもを甘く育てていると思う。それはよいが、善悪をはっきりさせる教育は必要ではないか。年長者のよい態度などを子どもが学ぶ必要がある。地区とのかかわりも大切だと思う。地区のお祭りなどに参加することで子どもが成長できたらいいと思う（70歳以上女性）

◇家庭で子どもを育てる意識が低い。幼少期から、食生活、働くこと、汗を流すこと、規則正しく生活すること、善悪の判断、家族愛、しつけ、周りの子に左右されないこと、喜怒哀楽の豊かな子にすること、流行に流されないことなど、保護者として責任を持って子育てすることが大切（性別年代不明）